

2025年8月吉日

(公社) 公益社団法人日本鑄造工学会 会員各位  
(一社) 日本鑄造協会 会員各位

主催 (公社) 日本鑄造工学会 東海支部  
支部長 前田安郭  
企画委員長 白川 博一  
協賛 (一社) 日本鑄造協会 東海支部



(公社) 日本鑄造工学会東海支部

2025年度「鑄物技術講演会&技術交流会」のご案内 (案)

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は日本鑄造工学会東海支部の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東海支部では本部「第3期中長期ビジョン」に掲げられている「日本での“モノづくり”，“人づくり”に貢献し、鑄造業界を元気にする」という想いを受け、鑄造業界が取り組んでいるテーマを「3つのシンカ (深化・新化・進化)」+「親化」による仲間づくりを推進し、支部の学会活動を通じて会員の皆様のニーズに合わせて学会活動に参加できる環境づくりを進めています。

今回は、近年のデジタルモノづくりにおける喫緊の課題となっている AI に対応する企画として、「デジタルものづくりにおける AI 活用」をテーマに技術講演会を開催いたします。講演会終了後には技術交流会を開催いたします。

ご多忙の中とは存じますが、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

## 【鑄物技術講演会】

開催日時：2025年10月24日(金) 13:00~16:45

開催方式：ハイブリッド形式 (会場 or リモートのどちらかを選択してお申込みください)

開催場所：【会場】 シャインズ 愛知県刈谷市東陽町2丁目18番地 TEL：0566-24-3348

【リモート】 Zoom ウェビナー

講演内容：別紙「講演プログラム」をご参照ください。

定員：【会場】 50名 (先着順, 定員に達し次第, リモートをご案内します)

【リモート】 100名 (先着順)

※リモート参加について

- ・リモート視聴をご希望の方は、当日参加するEメールアドレスを申込みフォームにご記入ください。
- ・当日のウェビナーURLは後日、お申込み時のEメールアドレス宛にご案内します。
- ・当日は開始15分前から入室できます。

参加料 (消費税10%込)

- ・日本鑄造工学会 個人会員, 維持会員 5,000円/人
- ・日本鑄造工学会 学生会員 無料
- ・鑄物組合会員, 日本鑄造協会会員 5,000円/人
- ・非会員 22,000円/人

## 【技術交流会】

開催日時：2025年10月24日(金) 17:00～19:00

開催場所：【会場】シャインズ（技術講演会と同じ会場です）

定員：60名（先着順）

参加料（消費税10%込）：

- ・日本鑄造工学会 個人会員，維持会員 3,500円／人
- ・日本鑄造工学会員以外 5,500円／人

### <参加申込方法>

申込方法：東海支部ホームページ (<https://jfs-tokai.jp/>) よりお申込みください。

- ※ 締切後にキャンセルされた場合の参加料の返却はできません。
- ※ 申込は10月17日(金)までをお願いします。
- ※ 送金は10月31日(金)までをお願いします。

送金方法：銀行振込 三菱UFJ銀行金山支店 普通預金口座 支店番号 288

口座番号 1262063 (公社)日本鑄造工学会東海支部 (注)ニホンチュウゾウコウガクカイ トウカイブ

- ※ 領収書は，銀行の振込受領証を持って代えさせていただきます。
- ※ 振込手数料はご負担願います。

お問い合わせ先：〒473-8501 愛知県豊田市高丘新町天王1番地

アイシン高丘(株) 先行開発部 技術管理T内

(公社)日本鑄造工学会東海支部 事務局 岩間由圭子

TEL：080-6166-6000 E-mail：jfs-toukai@to.at-takaoka.co.jp

以上

# 【鑄物技術講演会】プログラム

司会 東海支部理事 花井 崇

(1) 開会挨拶<13:00-13:05>

企画委員長 白川 博一

(2) 講演 (ご講演 30 分+質疑 10 分)

講演①<13:05~13:45>

## 「講演① 導入：AI とは？ (仮)」

名古屋大学 情報学研究科 知能システム学専攻 准教授 出口 大輔 氏

### ●講演概要

講演②<13:45~14:25>

## 「講演② 材料組織画像に基づく AI 特性予測技術の開発とデータ準備・解釈の課題 (仮)」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 村上 雄一朗 氏

### ●講演概要

アルミニウムの資源循環に向け、合金元素量の多いアルミニウム合金の光学顕微鏡画像から、引張強さや伸びを予測する AI モデルを構築した。材料データの選定・整備や、予測結果の材料学的妥当性の検証において技術的課題が多く、これらへの対応を通じて得られた知見を報告する。

研究開発の領域では AI による予測等を行うのにデータが足りない、ということがよく言われます。

AI をする人たちは平気で『データを 1000 点ほど下さい』と言うけれど。。AI を行う際の困りごと、苦労した点・工夫した点などを紹介

— 休 憩 <14:25~14:40> —

講演③<14:40~15:20>

## 「講演③ 技術説明：画像+AI の技術説明 (仮)」

中京大学工学部機械システム工学科 教授 青木 公也 氏

### ●講演概要

講演④<15:20~16:00>

## 「講演④ 事例 1：製造現場での AI 活用事例 (仮)」

株式会社豊田自動織機 片岡 成公 氏

### ●講演概要

講演⑤<16:00~16:40>

## 「講演⑤ 事例 2：鑄造ビッグデータ分析ツールの開発 (仮)」

株式会社アイシン ○○ ○○ 氏

### ●講演概要

当社のダイカスト工程では、生産工程で起こりうる不具合の原因を分析し、工程設計標準に防止策を盛り込むことで、不具合発生未然防止を行っている。分析の材料として、鑄造 1shot 当たり数百項目以上の鑄造条件をモニタリングしているが、その分析には熟練鑄造技術者のカンコツと時間を要する。

今回、その問題を解決すべく機械学習を活用した「ビッグデータ分析ツール」の開発を行った

(3) 閉会挨拶<16:40~16:45>

企画副委員長 中村 勇人さん？

主催：日本鑄造工学会 東海支部

協賛：日本鑄造協会 東海支部

<技術講演会 会場アクセス>

詳細は会場 HP (シャインズ, <http://www.shines-shokki.jp>) をご参照ください.

○公共交通機関

(JR 刈谷駅から)

刈谷駅南口から徒歩 7 分

(講演会会場アクセス)

